



Monthly Report

ホームページ <http://www.takamatsu-south-rc.com/>

2024 - 2025

ロータリーのマジック RI会長：ステファニーA. アーチック

2024-2025年度クラブテーマ「全会員がそれぞれの奉仕をかたちにしよう」

活動に参加しない（ゼロ活動）人をゼロにする【ゼロゼロ運動】

会長：多田耕三 幹事：松木リカ

例会場/JRホテルクレメント高松3階「玉藻の間」 毎週水曜日 12:30~13:30



2024-25年度

会長幹事就任挨拶 7月3日 第1回

日時/令和6年7月3日(水)12:30~

場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶

会長 多田 耕三

本年度会長をさせていただきます。多田です。ロータリーの勉強をしていましたら、DEIという言葉が多く聞かれます。そこで、DEIとは何かをお話ししたいと思います。

DEIとは

Diversity (多様性)

性別、国籍、性的指向、障害などの有無にかかわらず多様な人が差別なく活動すること

Equity (公平さ)

他の人と同じ物や機会を提供されても、何らかの理由で彼らが活用できない状況にある人に対して、その不利な状況を改善するために追加の支援や配慮を行うこと

Inclusion (包括性)

多様な人たちが、それぞれ個人として尊重されながら、構成員の一人としてその違いを活かし、力が発揮できるように積極的に環境整備や働きかけを行っていくこと。

ここで、平等 (equality) とは、すべての人に1足の靴を与えることであり、公平さ (equity) とは、すべての人にピッタリの靴を与えることです。公平さを選択していることも素晴らしいことです。また、DEIの行動規範というものがあります。

他者を尊重する言葉を使う

- ・人の呼び名は言いやすいニックネームでなく、本人が希望する名前前で呼ぶ
- ・世代間の対話を促す雰囲気や助長し、人を年齢で言い表すのを避ける

温かく迎えるインクルーシブな環境を助長する

- ・バリアフリー対策ができていない会場、同時通訳、字幕又は筆記などすべての会員が全面的に参加できるようにする。

この行動規範を読んで、我がクラブでは、耳が聞こえにくい会員に対して、個別スピーカーを用意して例会の内容が聞こえるように環境を整えたことがこれに当たるのではないかと思います。思いやりのここからの行動がすでにDEIを実現していました。これからも自然にDEIができるクラブを続けていけるように頑張っていきます。

2024-2025年度 幹事を引き受けるにあたって

2024-2025年幹事 松木 リカ 会員

この度 多田耕三会長のもとで幹事を務めさせて頂くことになりました、松木リカです。

高松南ロータリークラブに入会して12年経ちます。先輩方の優しさに甘えて、ただ楽しく出席していただけでしたが、SAAをさせて頂いてからロータリークラブをもっと知りたい、関わっていきたく思うようになりました。そんな時 幹事のお話をいただき不安もありましたが、挑戦してみたいと思う気持ちの方が強く、思い切ってお引き受けすることにしました。

クラブ運営事務局の要として、お役にたてるよう、寄り添えるロータリアンのひとりとして、肩ひじ張らずに、楽しみながら、精一杯がんばっていきこうと思っています。

本年度のクラブのテーマは、「全会員がそれぞれの奉仕をかたちにしよう」です。一つひとつをかたちにしていけるよう、多田会長はじめ皆様方のご指導ご協力、よろしく願います。共に奉仕できるよろこびを共有できますように！

ありがとうございます。



多田新会長



松木新幹事



松木新幹事、多田新会長、熊田前会長、住田前幹事

ニコニコ箱

田辺はまゆうRC 山本様「高松南RC初例会おめでとうございます。多田会長、松木幹事の今期の活躍を期待しています。先週に引き続き今週もお邪魔しました。よろしく願います。」

多田会長「一年間よろしくお願いいたします。至らぬ点があると思いますが皆様のご協力よろしくお願いいたします。松木幹事ともがんばります。」

松木幹事「今日から一年間幹事を務めさせていただきます。ご指導よろしくお願いいたします。」

田村会員「ご無沙汰しております。出席率悪く申し訳ありません。多田会長、松木幹事、並びに理事・役員の皆様、一年間どうぞよろしくお願いいたします。」

岡(隆)会員「米山委員長拝命いたしました。渡辺成剛さん、ありがとうございます。めちゃくちゃ厚かったです!」

吉田直由会員「今年一年間宜しくお願いします。」

豊田PDG「誕生日祝い」

谷本会員「多田会長、松木幹事、新しい風を吹かせて下さいね!」

森(恒)会員「誕生日祝いありがとうございました。」

計¥31,000 合計¥31,000

会員掲示板

- メイクアップ/6名
- ピジター/0名

ロータリーソング「ロータリー四季のうた」
ソングリーダー「三木会員」

2024-25年度

第3回クラブ協議会 7月10日 第2回

日時/令和6年7月10日(水)12:30~

場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶

会長 多田 耕三

世界は常に変化している

ロータリーは、この世界と共に

変化して成長していかなければならない

ロータリーの物語は

幾度も書きかえられねばならない

『ポールP.ハリス』は1868年4月19日、シカゴ市の北62マイルにあるウィスコンシン州ラシーン市で、ジョージ・ハリスとコーネリアの二男として生まれる。父母の両家は富豪であったが家庭的にはあまり恵まれず、3歳の時家計困難で兄とともにバーモント州ウオーリングフォード町に住む資産家で賢明にして厳格な祖父母に養育される。祖父母の教育と、この町で村人が互いに職業を利用しあって楽しく生活していたことがハリス少年の記憶に残り、後にクラブ構想の発端となる。幼少時代から高校までは、ハリス自身「いたずら少年」だったといっているが学校での知性と指導力は優秀であったといわれる。祖父の勧めで規律教育のため陸軍士官学校に入学したがここでも指導者としての素質を発揮し抜群の成績を収めている。

1887年19歳で法律事務所では法律を勉強しアイオワ大学法律学部に入學、1891年23歳で法律の学位を取得して卒業。5年間アメリカと世界各地の見聞と職業体験を決意。サンフランシスコで新聞記者、1893年ワシントンで新聞記者、この後念願のイギリスに行くために船会社の家畜係で労働、千草作り、トウモロコシの缶詰工場、今度は家畜主任となり、数週間で4回も渡英、ロンドン始め広くイギリスを見聞している。後にニューヨーク事務所の支店長となる。祖父母から他人に対する寛容、思いやり、優しさ、尊敬の念の尊さを学んでいたのに加え、この5年間の尊い経験から職業と親睦の偉大さを知った。1896年2月27日28歳で新興都市シカゴで弁護士を開業。当時アメリカ社会は変動期で、あらゆる人種、信条、文化のつぼと化したシカゴでは犯罪、汚職、暴力の巢窟で利己主義・悪徳商法が横行していた。ハリスは人間探究を怠らず15年間に30力所も住居を変え、あらゆる宗教の礼拝に加わり他人の友情と欲求を理解することを知る。1900年秋、ハリスは友人を訪ねジャース公園を歩きながら友人が何人もの人と出会う度に、屈託ない親しい挨拶、軽い冗談を言い合っている姿には真心と歓迎の微笑みがあり嘘偽りが無い事を知った。しかもお互いに取引関係にあることに気づいていたのである。シカゴの現状と対照的な少年時代を過ごしたウオーリングフォードでの村人たちの友情に結ばれた楽しい光景を思い出したのである。これがいままでもハリスが求めて掴みえなかった「人間の絆」であった。ここに一業一人の相互扶助の新しいクラブ構想が芽生える。専門職業界を1人で代表することによって社会の為だけでなく、お互いの職業を利用し合うことは会員同士の親睦と相互扶助に役立ち、特に新会員は新たな友人となり、公正な取引は信頼感を深める。会員が多くなればこの輪は広がっていく。会員は「寛容で親睦と友情の精神」にあふれた人でなければならない。祖父母から教わった「寛容」に共通している。これがクラブ理念であり善意と寛容と理解から奉仕へと発展していく基礎であろう。いよいよハリスは実動に移りはじめた。もっとも親しい数人の知人にこの構想を打診し始めていた。反応は良好であった。いよいよ1905年2月23日の夜に他3名と世界最初の奉仕クラブ「ロータリー」を創始した。創始3年目にクラブ会長となる。1910年7月2日スコットランドのエジンバラ出身のジーン・トンプソンと結婚。ハリス42歳、弁護士を開業して14年目、ロータリーを創始して5年目の夏である。ハリスはシカゴ郊外に居を構え夫人の郷里の名をとりカムリー・バンクと名づけ、生涯の住居とした。また旅行に多くの時間を費やし、頼まれて夫人と共に世界各国を何回も回り毎年国際大会、地域大会、地区大会などで多くの講演を行い、生涯をロータリーの発展に捧げた。「国際ロータリー」の初代会長であり1947年1月27日(月)78歳で逝去したときは名誉会長であった。シカゴ市マウント・ホーフ墓地に眠る。その執務室は世界本部にそのまま保存されている。

ハリスは終生にわたり、法律事務所の仕事を熱心に続ける傍ら多くの公職にもあった。全米身体障害児童および成人協会並びに身体障害児童国際協会初代会長、シカゴ弁護士協会理事、アメリカ弁護士協会の委員会委員などなど、外国からはブラジル、チリ、ドミニカ共和国、エクワドル、ペルーなどから榮譽

ある勲章を授与されている。

ジーン夫人は信仰深いトンプソン家の8人兄弟の5番目で、すばらしく魅力的な女性だったといわれる。37年間ハリスに連れ添い、ロータリーの発展に努め、ハリスの世界中のロータリー講演旅行(ハリスのテーマは理解と友情、またはロータリーの起源が多かったといわれる)にはいつも同行し、何度かハリスに代わって講演もしている。ジーン夫人はエジンバラで晩年を送り1963年11月9日逝去、82歳。ハリスとは海を隔てて何千キロも離れたエジンバラ市ダルキース・ロードのニューイントン墓地に先祖とともに眠る。その墓石には「常にかわらぬ信仰と豊かな慈愛の心を持った婦人」と刻んである。

二人は子供に恵まれず、ハリスの自叙伝には「子供がいない私たち夫婦は国際ロータリーを養子にしました」と書いている。(ポール・ハリス偉大なる奉仕の先覚者より)

ポール・ハリスの原点の思いは、決して忘れてはいけないと強く感じました。変化しなければいけないこと。変化してはいけないこと。を理解して、今年1年会長職を全うしたいと思います。

ニコニコ箱

岡(隆)会員「豊田さん、本年度も米山へのご配慮ありがとうございます。」
松木幹事「松井さん、ロータリークラブ入会おめでとうございます。これからいっしょに楽しみましょう。」
計¥5,000 合計¥36,000

会員掲示板

- メークアップ/6名
- ビクター/0名

ロータリーソング「我等の生業」
ソングリーダー「三木会員」

2024-25年度

住谷ガバナー補佐挨拶 7月24日 第3回

日時/令和6年7月24日(水) 12:30~
場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶 会長 多田 耕三



今日は、住谷ガバナー補佐、随行者の遠藤様、有友様ご訪問ありがとうございます。

今日は、皆さんにある本をご紹介します。著者：辻中公(つじなかすみ)さんの「ここを磨くやまとしぐさ」という本です。この本は、日本人の本質を思い出させてくれるものでした。

日本の「言葉・数・神話・しぐさ」にはすべて意味があります。私たちの才能・使命・天命を思い出するための暗号や呪文が隠されているのです。その秘訣は「一心五心」を育てること。一心五心の実践で本来の自分を輝かせ、次世代に日本の智恵を伝え残し、天命で生きる人を増やすことが、私たちの使命です。

このような書き出しからはじまり、食事の仕方、挨拶の仕方、掃除の仕方、季節の過ごし方などをその理由を含め教えていただけます。

その中でも、一心五心(お陰様の心・感謝・思いやり・尊敬・責任・信頼)の必要性を感じた内容でした。ところが美しい人は、言葉や立ち居振る舞いも美しくなる。それは、一心五心があつてのことである。そこには、ポール・ハリスの精神に似ているように思いました。

本来の日本人のここを思い出し、ロータリーの奉仕の精神を若い世代に繋げていけるようにやっていきたいです。

ご挨拶・クラブ訪問

ガバナー補佐 住谷 幸伸 様



はじめてのクラブ訪問です。ガバナー補佐の役割を十分に果たして行きたいと自覚しています。

現下、ロータリー変革の時、ロータリーを取り巻く情報の往復、共有化を果たして行きたいと存じます。

卓話

篠田日出海 会員

短期交換ホストファミリー経験

我が家で初めてホストファミリー（HF）を引き受け、得難き5日間を経験しました。短期交換の相手先は国際ロータリー第7475地区（米国ニュージャージー州）で、今回は学生20名（男子8名、女子12名）とリーダー3名（女性3名、男性1名）の計23名が来日しました。

ニュージャージー州は、世界の大都市ニューヨークに隣接し、面積は四国と同程度の19,231km²、人口は930万人（四国354万人）で、合衆国で英国から最初に独立した13州の一つです。

我が家にホームステイ（HS）したのは、リーダーのKaren Johnson（女性77才、ニュージャージーカレッジ・プログラム共同委員長）の只一人、7月12日～16日の4泊5日でした。

12日午後には香川県地区のHS受入式を坂出のホテルで行い、この後、自宅へ連れ帰りHFが始まりました。自宅で、滞在中のスケジュール説明と家族の紹介をして夕食、第1日目のHFが終わりました。

第2日目は、直島へ高速艇で向かい地中博物館と李禹煥美術館、栗林公園を案内しました。Karenさんは美術に造詣が深くこれらの芸術作品に大変興味を示していました。この直島観光中にスマホのLineに、「2日前の前泊地松山のHFのご主人がコロナ感染で発熱」の報が入り、濃厚接触者に当たるKarenさんへの注意喚起がありました。本人には感染徴候もなく、いたって健康なので観光続行。夕飯は自宅で家族とのパーティーで歓談が進みました。

この自宅パーティーの時に、前泊地のHFで同宿だったもう一人のリーダーから連絡があり、携行の簡易PCR検査でチェックしたら陽性と出たので翌日に病院で正式なPCR検査をすること。Karenさんも念のため翌日病院検査する事になりました。

第3日目は、短期交換委員会の緊急時マニュアルに則って、簡易検査で陽性が出たもう一人のリーダーと他クラブのロータリアンが経営する病院で正式PCR検査を受検。結果は、Karenさんが陽性、簡易検査で陽性のもう一人のリーダーは陰性、事前情報とは真逆になり、直ちに自宅に帰り自室で行動自粛。以後の計画スケジュールにある当日予定のSobhani会員宅での昼食歓迎パーティー、クラブの夕食歓迎パーティーもキャンセル。私や家族も濃厚接触者になるので、これらには全て欠席しました。

第4日目は、前日同様に自室で行動自粛。TVを見たりインターネットで外部と連絡を取ったりで時間を潰していたようです。この日は、RI2670地区主催のフェアウエルパーティーですが本人は勿論、我が家族も欠席しました。また、計画では当夜に訪日団とホテルで合流する予定でしたが、コロナ感染者のため、私宅に延泊する事になりました。

第5日目、訪日団は翌日の離日に向け香川県から神戸へバス移動です。高松出発前に本人からもう一度病院検査を希望したので三宅会員にお願いしてキナシ大林病院でPCR検査をしましたが、やはり陽性でした。彼女は団体行動せず、私の車で神戸へ単独移動しました。

翌日、訪日団は無事ニューヨークに帰着したとのFacebookには、その集合写真にマスク姿の彼女を見つけ安心した次第です。

HFを引き受けるに当たって、地区短期交換委員会が1ヶ月前に「ホストファミリー説明会」を行い、「注意事項」、「動物や食事アレルギー」、「緊急時のサポート」等を周知しました。受入式では交換生持参の個人カルテ（前HFが記載）を受取り、それには食事や申し送り事項、渡した土産のことが書かれており、大変参考になりました。

初めてこのプログラムのHFを引き受けて、良き経験をしたこと、それに地区短期交換委員会のサポートの緻密さに感心し、お礼申し上げます。



みなさんも、ホストファミリーをして見ませんか！

卓話

中村耕太郎 会員

ホストファミリーを初めて経験して

ホームステイしたのは、高校生ではなく、学生を引率する副リーダーのジョージ・ウイリアム・ウエンツさんという29歳の男性です。ニュージャージー州にある高校で社会科の教師をされている方です。日本の歴史やアニメなど幅広く興味をお持ちで、4年前から日本語を学習されていたようです。英語でのコミュニケーション力のないホストファミリーとしては、大変助かりました。

さて、7/12から15までの、我が家での過ごし方です。

7/12（金）受け入れ式後、自宅に帰り、移動の疲れもあると思い、準備した机とベッドのある個室で休んでもらいました。夕食のメニューは、様々な日本料理を味わっていただきかけたので、あえて季節外れの「すき焼き」にしました。

7/13（土）朝食は、ストロベリージャムをお土産にいただいたので、食パンをトーストし日本製いちごジャムと食べ比べしました。花を観たいというリクエストがあったので、ちょうど見ごろの蓮の花を栗林公園へ見に行きました。抹茶にもチャレンジしてもらいました。その後、源平合戦が行われた屋島を案内しました。自宅近くのセルフうどん店で、昼食をとり、自宅に帰り個室でゆっくり休んでもらいました。

時間があったのでお土産を渡しました。こんぴらさんの手ぬぐいとコンパクトな携帯書道セットです。硯に水を数滴たらし、墨をする工程を実際に行いました。書道体験は、他県でも行ったそうで、カタカナでご自身の名前を書いていました。

夕食は、手作りの焼き鳥です。いこした備長炭で焼き上げました。外で行う予定でしたが、小雨でしたので家の中で焼いたところ、煙でいっぱいになり、合言葉は、「IN SMOKE」で大変盛り上がりました。英語が堪能な事務局の鷲谷さんにもご参加いただき楽しい夜となりました。

7/14（日）朝食は、紅茶・ドーナツ・バナナとしました。久しぶりの軽食にホッとしているようでした。昼食は、マスウド・ソバハニ会員の庵治町にある海が見渡せるご自宅で、歓迎会を開催しました。参加者は、松木幹事とご友人2名、住田前幹事と奥様、三木会員、ソバハニ会員と奥様、ご子息。鷲谷さん。私と家内の12名でジョージさんを歓迎しました。ソバハニ会員の奥様がイランの煮込み料理を作ってください、また、名店の握りずしも準備してくださいました。松木幹事差し入れのシャンパンやソフトドリンクと一緒に美味しくいただきました。

夕食は、高松南RC主催の歓迎会を市内のレストランで行いました。2670地区から濱崎短期交換委員長・堀尾短期交換委員・通訳のネルソン・ジョシュア氏、高松南RCからは、多田会長と奥様、藤田徳子会長エレクト、森敬介幹事エレクト、熊田浩直前会長、詫間行芳（たくまゆきよし）戦略計画委員長、吉田茂職業奉仕委員長、田中理青少年奉仕ローターアクト地区委員長と私の12名でジョージさんの歓迎会を行いました。写真を撮るのを忘れ楽しんでしまいました！

7/15（月）朝食は、近所のパン屋で焼き立ての総菜パンと菓子パンを買ってきました。玉藻公園で散策、隣接する香川県ミュージアムで香川県の歴史を見てもらいました。昼食は、人生初の駅弁です。日本のお弁当は美味しいと喜んでいました。

18時から宇多津のホテルで来賓に池田知事・御令室を迎え盛大なフェアウエルパーティーが行われました。

私たち家族にとって初体験のホストファミリーは、不安でいっぱいでした。しかし、蓋を開けてみれば、ジョージさんは、日本人的な感性を持った素直で優しい青年でした。私た



ち家族にとって、ジョージさんとの交流は、かけがえのない貴重な体験となりました。最初は、絶対反対だった家内が一番感動していました。是非、この感動を皆さんにも体験していただきたいと思います。

ココココ箱

香川第一分区分会補佐 住谷幸伸「今年度一年間お世話になります。」

松木幹事「住谷ガバナー補佐、遠藤さん、有友さん、ようこそ今後ともよろしくお願いたします。」

ソバハニ会員「多田会長、松木幹事、一年間ガンバレ！ LOVE 高松南RC」

白井会員「遠藤さん、ようこそ高松南RCへ。随行訪問ご苦労様です。会長年度は色々お世話になりありがとうございます。今後ともよろしくご指導・ご鞭撻お願いいたします。先日7月7日にホールインワンを出されたそうですね。すごいすごい。大変おめでとうございます。私は平成3年3月3日と平成15年5月3日にホールインワンを達成しました。なんか運命を感じました。七夕にホールインワン本当に心よりおめでとうございました。2022～2023年度の会長・幹事会、10月9日にお祝いさせていただきます。グッドラック。」

計¥12,000 合計¥48,000

会員掲示板

- メイクアップ/18名
- ビジター/0名

ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー「三木会員」

2024年8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

No.	日	時間	場所	例会プログラムおよびその他	備考
5	7	18:30～	JRホテルクレメント高松	夏季例会（夜間開催）	
	14			休会（定款第7条による）	
6	21	12:30～	JRホテルクレメント高松	客話「就労継続支援事業所の水耕栽培」 （株）フォースター 会長森秀貴氏・社長香西芳輝氏 定例理事役員会	
7	28	12:30～	JRホテルクレメント高松	テーブルミーティング	全会員

編集後記

子供の頃から、祖母にきつく躰けられたことは「白足袋さんにはチャンとおしや」でした。大きくなって理解できて来たことは、白足袋さんとは雅な文化を熟成させる僧侶やお茶、お花、日本舞踊やお謡のお師匠さん、芸舞妓衆や彼女らを束ねるお茶屋の女将さんであり、いわゆる一見さんお断りの超一流の料亭の女将さんたち、あるいは経済界でいえば西陣や室町の旦那衆等々、日常的に白足袋を履いている方々を言います。誰とつながっているかわからない故に、白足袋さんからの頼まれごとや、お手伝いを依頼されたら返事はいつも一択、YESのみ。ここはロータリーもいっしょ！仕事に直接関係あろうが、なかろうが関係ありません。何かしてほしいから、何をする。ではなくて、何かしておく、何かしてほしいときになんとかかなるかも。平時からのポイントを貯める＝お返しがある。お返しの期待があまり露骨なのはあきまへん。白足袋さんは人を見る目がある。それが人物を見る「目利き」というそうです。目利きとは本来、刀剣、書画骨董の真贋を、良否を見極めることですが、ものの真の価値が解る人の事でもあると

言われています。そこが、京都には大学が多いのに裏口入学のトラブルがないのは、お金ではなく日常的な義理と縁からかもしれません。京雀は何でも知っている。どこそこの誰さんは「畳のへりふんで歩きよる」「立ったまま出入りしよる」「行儀悪いとは言わない、立居振舞に色が無い」「畳の目、よめんのかな。雅（が）が無い」「なんでもすぐ真ん中に立ちたがる、立居振舞に艶が無い」等々、どこで、誰の目に耳に入っているやも知れないほど、京雀の囃りは俊寛僧正を鬼界が島に流した平家物語以来のことです。日本文化を支えるのは「節度と品位」であり、「ショウ（商）はショウ（笑）ありてショウ（勝）なり」だそうです。

2024-2025年新年度がはじまって1か月の8月号です。無償の世界に、夢と情熱を併せ持つ奉仕のところがいっぱい詰まったロータリアンの集いの中に、一人ひとりが役割をもつ。だけどその集いの主役はロータリアンみんなです。まさに、「ひとり一役、みんなが主役」です。そんな有意義な集いをお知らせするようがんばってる会報です。ご高覧ください。（編集子）